

**仁淀川水系河川整備計画【修正素案】に係る
「ご意見・ご質問」に対する
四国地方整備局及び高知県の考え方について**

平成 25 年 10 月

国土交通省四国地方整備局

高 知 県

～ 目 次 ～

1.ご意見のとりまとめ（概要）	1
2. ご意見への対応	4
3. ご意見・ご質問に対する四国地方整備局 及び高知県の考え方	5

1. ご意見のとりまとめ(概要)

仁淀川水系においては、平成20年3月26日に河川法に基づき「仁淀川水系河川整備基本方針」が策定されました。

これを受けて、仁淀川水系では、河川整備基本方針の目標に向けて段階的に河川整備を推進していくために、概ね30年後の河川整備の目標及び具体的な河川整備の内容を明確にする「仁淀川水系河川整備計画」の策定が必要となっています。

このため、国土交通省四国地方整備局及び高知県では、仁淀川水系の河川整備計画に関して、様々な方からのご意見を頂きながら、河川整備計画の検討を進めています。

これまでに、国土交通省四国地方整備局及び高知県では、「仁淀川水系河川整備計画」の策定に向けて、平成24年12月27日に「仁淀川水系河川整備計画【素案】」（以下、【素案】という）を公表いたしました。

この【素案】に対して多くの皆さまからのご意見を頂くため、平成25年1月22日から同2月7日までに、「仁淀川流域学識者会議」、「仁淀川流域住民の意見を聴く会」、「仁淀川流域市町村長の意見を聴く会」を計5回開催するとともに、平成25年1月11日から同2月12日まで、ハガキやFAX、電子メール等によるご意見の募集（パブリックコメント）を行いました。

また、頂いたご意見を反映した「仁淀川水系河川整備計画【修正素案】」（以下、【修正素案】という）を作成し、平成25年7月12日に公表いたしました。

この【修正素案】に対しても多くの皆様からご意見を頂くため、平成25年7月27日から31日までに「仁淀川流域学識者会議」、「仁淀川流域住民の意見を聴く会」、「仁淀川流域市町村長の意見を聴く会」を計5回開催するとともに、これらの会に参加できない流域住民の方々のご意見を頂くため、平成25年7月16日から同8月16日まで、ハガキやFAX、電子メール等によるご意見の募集（パブリックコメント）を行いました。

これら様々な機会を通じて数多くのご意見を頂き、誠に有難うございました。頂きました【修正素案】に関するご意見の総括は、表-1 のとおりです。

各会議の議事録等については、以下に示した仁淀川水系河川整備計画のホームページに掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/niyodoseibikeikaku/>

なお、流域住民の方々の氏名等の個人情報については、公表を差し控えさせていただきます。

今回、国土交通省四国地方整備局及び高知県は、「仁淀川流域学識者会議」、「仁淀川流域住民の意見を聴く会」、「仁淀川流域市町村長の意見を聴く会」及び「パブリックコメント」において頂いた【修正素案】に関する意見を反映し、「仁淀川水系河川整備計画【案】」（以下、河川整備計画【案】という）を作成しました。

**表－1 仁淀川水系河川整備計画【修正素案】
に関するご意見・ご質問の総括について**

①各会場でのご意見数

会議名	日程	会議場所	意見数 質問数	発言 者数	傍聴者 参加者	備考
第2回 仁淀川流域学識者会議	H.25.7.31(水)	高知市文化プラザ かるぽーと	18件	8名	7名	全委員10名 内2名欠席
第2回 仁淀川流域住民の 意見を聴く会	土佐市会場	H.25.7.27(土) 土佐市立中央公民館	0件	0名	3名	
	いの町会場	H.25.7.27(土) かんぼの宿伊野	5件	3名	6名	
	佐川町会場	H.25.7.28(日) 佐川町総合文化センター	16件	4名	9名	
第2回 仁淀川流域市町村長の 意見を聴く会	H.25.7.29(月)	かんぼの宿伊野	18件	7名	8名	流域市町村長7名
合 計			57件	22名	33名	

②パブリックコメントによるご意見数

種別	高知市	土佐市	いの町	日高村	佐川町	越知町	仁淀川町	不明	計
ハガキ	1	1	4		3				9
電子メール									0
意見記入用紙									0
FAX									0
計	1	1	4	0	3	0	0	0	9

③意見分類によるご意見数

	意見数
河川整備計画全般 (共通)	8件
洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減 (治水)	15件
河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持 (利水)	2件
河川環境の整備と保全 (環境)	14件
維持・管理 (管理)	12件
費用便益分析 (事業評価)	4件
その他 (その他)	11件
合 計	66件

2. ご意見への対応

2.1 ご意見の整理

ご意見の整理にあたっては、議事録やパブリックコメントの文章の中で、同一内容に係るご意見またはご質問とその理由を要約し、一つの「ご意見及びご質問」と定義し、発言順に通し番号で整理しました。

また、同様のご意見と判断したものについて、「テーマ」ごとに分類し整理しました。

2.2 四国地方整備局及び高知県の考え方

「2.1」で分類したテーマ毎のご意見に対し、四国地方整備局及び高知県の考え方をお示しし、できる限り「河川整備計画【案】」に反映し、反映できないご意見については、理由を付して公表いたします。

2.3 考え方に対応した「河川整備計画【案】」の内容

皆様から頂いたご意見について、反映できるものについては、どのように「河川整備計画【修正素案】」を修正したか、アンダーラインや見え消し等で表記しました。

3. ご意見に対する四国地方整備局及び高知県の考え方

仁淀川水系河川整備計画【修正素案】に関する意見の整理表

分類No.	テーマ	
河川整備計画全般（共通）	共通- 1	整備計画の策定と実施
	共通- 2	事業費
	共通- 3	整備計画全般
	共通- 4	整備計画の変更
洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減（治水）	治水- 1	支川の改修
	治水- 2	内水対策
	治水- 3	浸透対策
	治水- 4	ダムの運用
河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持（利水）	利水- 1	水量の確保
	利水- 2	鎌田用水
河川環境の整備と保全（環境）	環境- 1	水質
	環境- 2	親水公園
	環境- 3	河道整備における配慮事項
	環境- 4	清流保全
	環境- 5	清掃活動
維持・管理（管理）	管理- 1	大規模地震に伴う河道閉塞
	管理- 2	情報伝達
	管理- 3	ダム堆砂
	管理- 4	草木の管理
	管理- 5	土砂管理
	管理- 6	残土処理
費用便益分析（事業評価）	事業評価- 1	環境価値
	事業評価- 2	社会的割引率
	事業評価- 3	資産の減少
その他（その他）	その他- 1	情報発信・広報
	その他- 2	歴史・文化
	その他- 3	その他

仁淀川水系河川整備計画【修正素案】に関するご意見・ご質問とその対応 (1/6)

分類No.	テーマ	通しNo.	聴取区分	市町村名	意見内容	四国地方整備局及び高知県の考え方	整備計画【案】記載ページ	考え方に対応した河川整備計画【案】の内容
共通-1	整備計画の策定と実施	1	学識者	—	かなり内容も豊かになり、計画として仕上がってきているような印象を受けた。文言だけで終わらせるのではなく、今後整備事業の中で確実に反映されるような努力を期待したい	河川整備計画の策定で終わらせることなく、着実な河川整備の実施に向けて取り組んでまいります。		
		2	住民	佐川町	仁淀川水系河川整備計画が確定されるのはいつ頃になる	今年度中の策定を目指しております。		
		3	住民	佐川町	確定した計画を何年頃から実施されるのか	河川整備計画に位置付けられた事業の中には、既に着手しているものもあり、上下流バランスを考慮し、優先順位を付け計画的に整備を進めてまいりたいと考えております。		
		4	住民	佐川町	当計画には莫大な予算が必要になるが、優先順位をつけて実施するの	高知県管理区間の柳瀬川の流下断面確保については、約100億円見込んでおります。なお、国管理区間の総事業費は30年間で約430億円見込んでおります。		
共通-2	事業費	5	市町村長	佐川町	仁淀川中流域では柳瀬川合流点の浸水の問題があり、今後地元要望を踏まえ大規模な工事を実施していくと思われるが、整備計画の中でどのくらい費用を見込んでいるの	高知県管理区間の柳瀬川の流下断面確保については、約100億円見込んでおります。なお、国管理区間の総事業費は30年間で約430億円見込んでおります。		
共通-3	整備計画全般	6	学識者	—	今回の修正案について、大きな修正を求める意見はなかったが、各委員から出た意見について、もう一度修正できるものについては修正していただく努力をお願いいたします	河川整備計画【修正素案】に対しても多くのご意見を頂いており、これらのご意見を参考にすることは、今後の仁淀川の整備において重要であると考えております。		
		7	学識者	—	反映されなかった意見が少なくないが、修正素案への加筆をもう少し頑張ってもらえないか。そうすることで、住民と行政とが協働で計画を策定しているという姿勢を示すことができると思う	なお、頂いたご意見については、できる限り反映し、反映できないご意見については、理由を付して公表させていただきます。		
共通-4	整備計画の変更	8	市町村長	いの町	整備計画は、工法等が変われば途中で変更するのか。入っていない箇所もあるので変更していただけるのであれば、期待しています	新たな課題の発生、河川整備の進捗、気象条件の変化、新たな知見、技術の進歩、社会経済の変化等に合わせ、必要に応じて変更を行うものとしております。		
治水-1	支川の改修	9	市町村長	佐川町	県下で常時浸水するのは柳瀬川合流点付近だけであり、住民は我慢しきれなくなっている	柳瀬川の事業は現在休止となっておりますが、今回の河川整備計画を早期に策定することで、柳瀬川の事業が再開できるよう取り組んでいるところです。	P35	2-1-2 治水事業の沿革 (7) 支川【高知県管理区間】の対策 7) 柳瀬川 その後、昭和50年台風5号及び昭和51年台風17号による大水害を契機として、昭和50年から54年度に河川災害復旧助成事業として、柳瀬川本川、支川春日川(かすががわ)、斗賀野川、西山川(にしやまがわ)等の延長35.8kmが整備されたが、下流部で未改修となっていることから浸水被害が未だに頻発しており、越知町から佐川町にかけての広大な農地等が被害を受けている。また、県道柳瀬越知線等の道路冠水によって、孤立集落が発生しており住民生活の支障となっている。
		10	住民	佐川町	柳瀬川の改修工事をいつごろから実施されるのか分かっているのあれば教えてほしい	今後、河川整備計画の策定を踏まえ、柳瀬川の改修が早期に実施できるよう努めてまいります。		
		11	住民	佐川町	越知町から佐川町にかけては、洪水時に道路が冠水し、集落が孤立するため、早急に柳瀬川の河川改修をお願いしたい	なお、道路冠水については、現状の課題として修正・追記いたしました。		
		12	住民	佐川町	柳瀬川合流点下流の狭窄部で水位が堰上げられ、仁淀川の背水の影響で毎年被害にあっている。完全に浸水がないようにしてほしいとは言わないが、毎年のように浸水している状況を少しでも改善してほしい	柳瀬川が仁淀川の背水の影響を受けることは課題として認識しております。 なお、段階的に確実な整備を行うために、当面実施する改修としては、河川整備計画の記載にあるような現況河道の拡幅による治水対策を優先して進めたいと考えております。		
		13	市町村長	越知町	柳瀬川を改修しても、仁淀川の背水影響の問題が残るのが心配である。導水路トンネルを抜くしかないのではないかと思う 越知町の基本産業である農業への影響が大きく、治水に対する住民の意識は強いので、改修をお願いしたい	段階的に確実な整備を行うために、当面実施する改修としては、河川整備計画の記載にあるような現況河道の拡幅による治水対策を優先して進めたいと考えております。 なお、頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。		
		14	住民	佐川町	柳瀬川の改修だけでは水害の軽減は難しい。やはり導水路トンネルを抜くことを提案する	河川整備計画の策定と併せて、日下川の改修が早期に実施できるよう努めてまいります。 なお、今後、事業を進めていく上で、用地買収、残土処理場の確保等が必要となりますので、ご協力よろしくお願いたします。		
		15	市町村長	日高村	神母樋門のところに排水ポンプ車を設置できるように釜場やヤードを整備していただいているところであるが、南海地震が来ると地盤沈下により水害の危険度が増すため、日下川の早期改修をお願いしたい	宇治川の整備の詳細については、仁淀川水系宇治川河川整備計画にも記載しており、水圧管路についても同計画に含まれております。		
16	住民	日高村	日下川の河川改修に取り組んでいただいているところだが、下流域はまったく手がついていない状況である。これまで長い間、水害を受けてきた歴史もあり、早期の日下川の改修に取り組んでいただきたい					
17	市町村長	いの町	いの町	国道33号の水圧管路について、修正素案の中に「水圧管路」という言葉が出てこないが、「河床掘削等」の「等」に含まれているということか				

仁淀川水系河川整備計画【修正素案】に関するご意見・ご質問とその対応（2/6）

分類No.	テーマ	通しNo.	聴取区分	市町村名	意見内容	四国地方整備局及び高知県の考え方	整備計画【案】記載ページ	考え方に対応した河川整備計画【案】の内容
		18	市町村長	土佐市	<p>どこの川も年超過確率は最低1/5となっているのに土佐市の川は1/3となっている</p> <p>修正素案を見ると、県が改修しないと国はしないという意味にとれるため、</p> <ul style="list-style-type: none"> 修正素案46ページの一番下の段落「今後は…」を削除し、「これにより一定の安全度向上は図れたが、基点となった大水害レベルに対応できるものではなく、900m³/s計画による上流部の整備が課題となっている。」と書き換えていただきたい 修正素案113ページの(4)波介川 1) 洪水を安全に流下させるための対応 下から2行目「上流県管理区間の改修の進捗状況に合せた」の部分を削除いただきたい 修正素案114ページ波介川最下段「が、」の後ろに「下流部の国の進捗状況に合せ」を入れていただきたい <p>県も厳しい財政状況の中で、すぐには着手できないと思うので、「県管理区間の改修の進捗に合せた」という表現は後ろ向きに取れてしまう</p>	<p>ご指摘の主旨を踏まえ、修正・追記いたしました。</p>	<p>P46</p> <p>P113</p> <p>P130</p>	<p>2-1-3 治水の現状と課題</p> <p>(1) 洪水対策等</p> <p>4) 波介川</p> <p>① 洪水を安全に流下させるための対応</p> <p>今後は、上流県管理区間の改修の進捗状況に合せたも踏まえて河道改修等による対策を図る必要がある。</p> <p>3-4 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標</p> <p>(4) 波介川</p> <p>1) 洪水を安全に流下させるための対応</p> <p>今後は、上流県管理区間の改修の進捗状況に合わせたも踏まえて河道改修等による対策を行い、浸水被害の軽減、解消に努める。</p> <p>4-1-1 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項</p> <p>(4) 波介川</p> <p>1) 洪水を安全に流下させるための対応</p> <p>今後も必要に応じて上流県管理区間の改修の進捗状況に合わせたも踏まえて対策を実施する。</p>
治水-2	内水対策	19	市町村長	いの町	<p>「排水ポンプ車の機動性を活かして早急に対処する」とのコメントが随所に出てくるが、排水ポンプ車の増設は考えているのか</p> <p>また、箇所毎で排水ポンプ車の設置場所は検討しているのか</p>	<p>高知河川国道事務所では、現在排水ポンプ車を6台保有しており、これらの活用により対応することを考えております。</p> <p>具体の設置場所については、現地の状況を確認し、関係自治体と調整を図りながら、効率的な排水が可能な場所を検討してまいります。</p>		
		20	住民	日高村	<p>加茂地区では、地盤が非常に弱いため地盤が沈下し、暗渠が暗渠として機能しなくなってきている。暗渠が機能しなくなった分の水を開渠部分に誘水するとか、暗渠を元通りに復るとか、何らかの手を打たなければ内水氾濫の危惧が残るので、そういった点を考慮していただきたい</p>	<p>ご指摘の課題があることは認識しており、「日下川浸水対策調整会議」でも検討してまいります。</p>		
治水-3	浸透対策	21	市町村長	高知市	<p>浸透対策の地下水の影響について、農業者だけでなく、企業者にも影響するため、修正素案に記載してあるような検討・対策を十分お願いしたい</p>	<p>浸透対策を実施する際は、地下水への影響等を考慮し、実施してまいります。</p>		
		22	パブコメ	土佐市	<p>堤防の補強をお願いしたい。左岸と右岸では土佐市側の方が補強されていないように思いますが、どうでしょうか。土佐市の三和製紙南の登堤防道周辺ですが、S49年の大水の時から水が吹き出ていました。一度国交省に電話したこともありますが、そのままです</p> <p>中は空洞になっていないでしょうか、とても心配しています。その後、大水も無いので忘れかけていますが津波で川の水が逆流している映像を見た時はドキッとしました</p> <p>防災上堤防の補強は絶対必要と考えますので是非共願したい</p>	<p>高岡地区の堤防の浸透対策については、今回の河川整備計画の中で位置付けており、順次整備を行う予定です。</p> <p>実施範囲については、附図の3ページをご参照ください。</p>		
治水-4	ダム運用	23	住民	佐川町	<p>現状では大渡ダムと桐見ダムは連携した洪水調節は行っていないが、今後は調整し合って下流側の洪水低減を図っていくとお聞きしたが、すでに大渡ダムと桐見ダムでは調整し合っているのか</p>	<p>大渡ダムの放流情報は、下流の関係自治体や高知県（桐見ダムを含む）等に連絡しています。また、大渡ダム、桐見ダムは、両者のダム情報を統一河川情報で確認でき、情報の共有化は図られています。</p> <p>次に、両ダムの洪水調節の連携については、現在の気象予測の精度では、洪水の前半部分は、それぞれのダムの操作規則に則った操作とならざるを得ません。洪水の後半部分は、今後の気象状況や両ダムの洪水調節容量の空き容量を勘案の上、調整は可能です。しかしながら、両ダムとも洪水調節容量が十分というまでの整備水準ではないため、各洪水での判断となります。</p> <p>現時点での仁淀川（本川）の洪水調節については、大渡ダムが担っており、現在の施設で最大限の効果を上げるように努めてまいります。</p>		

仁淀川水系河川整備計画【修正案】に関するご意見・ご質問とその対応 (3/6)

分類No.	テーマ	通しNo.	聴取区分	市町村名	意見内容	四国地方整備局及び高知県の考え方	整備計画【案】記載ページ	考え方に対応した河川整備計画【案】の内容
利水-1	水量の確保	24	学識者	-	基本理念で「豊かな水量」という言葉があるが、現状の水量に満足しているのではないと思う 豊かな水量に少しでも近づけるように、流域総合対策のようなものをどこかに盛り込んでいただきたい	ご指摘の主旨を踏まえ、今後豊かな水量の確保及び安定した水利用に向けて流域が一体となって取り組むことが重要である旨を修正・追記いたしました。	P181	5. 今後に向けて 仁淀川流域では、洪水や地震等の災害から貴重な生命、財産を守るとともに、 安定した水利用に向けて流域が一体となって取り組み 、河川環境と調和した、地域住民が安心して暮らせるような社会基盤の整備を図ることが 必要重要 である。 このため、地域住民、関係自治体、関係機関、河川管理者等が、仁淀川流域の情報を共有し、連携・協働して取り組む。 また、大学、研究機関、河川管理者等が連携し、河川整備に関して科学的に十分解明されていない事項の調査・研究に取り組む。
利水-2	鎌田用水	25	市町村長	土佐市	河道掘削が水位の低下を招き、今以上に鎌田用水の取水ができなくなるのではないかと心配である 河積確保は重要であるが、掘削実施前後の調査をしっかりとやっていただいて、影響が出たときは対応していただきたい	鎌田用水の取水に関する問題は認識しており、河川整備計画【案】の68ページに、十分取水ができていない旨記載しております。 加田地区の築堤に伴う河道掘削は、平水位以上の掘削となっておりますので、鎌田用水からの取水への影響は小さいと考えております。 なお、利水の機能維持については、取水を行う施設管理者に対応していただくこととなりますが、河川管理者としても河道掘削後の河床の定期的な測量を行い変動状況を監視してまいります。		
環境-1	水質	26	学識者	-	水質の基準はBOD以外にも様々な指標があるので、多様な指標を用いて、総合的な評価ができるような考え方が今後必要であると思う	河川整備計画【案】の73ページに、代表的な指標として、BODの値を示しております。また、環境基準点ではBOD以外にもCODやSS等の様々な指標による水質のモニタリングを継続的に行っております。 今後とも継続的に水質の観測・監視を行ってまいります。		
		27	学識者	-	支川は類型指定の基準を達成していない川があるほか、類型指定が低い管理目標になっている川が多数ある。引き続き監視し、支川の水質改善を図っていく必要がある	ご指摘の主旨を踏まえ、支川における水質の状況や、支川の水質改善に向けた取り組みについて修正・追記いたしました。	P72	2-2-3 水質 (1) 水質の現状 また、平流域に流入する支川であるの目下川、宇治川、波介川は良好な状態とは言えないが、等については改善傾向であるにあるものの、より上位の類型の環境基準の達成を目指し、流域が一体となった水質改善に向けた取り組みが重要である。
		28	パブコメ	高知市	自然石を河川に敷き、河川に酸素が入り込むようにして欲しい	今回の河川整備計画では、水際の捨石の配置や、自然石を帯状に配置し縦断方向に流況を変化させるなど、水生生物の生息環境の保全に努めてまいります。		
環境-2	親水公園	29	住民	日高村	江尻の親水公園についても触れていただきありがたいが、下流域の改修とあわせてなるべく早く取り組んでいただきたい	江尻地区の親水公園については、今後日高村とともに、具体的な計画策定に向けた検討を進めてまいります。		
		30	住民	いの町	奥田川親水公園の上下流に桜を植栽して桜並木を整備したいと考えているが、可能か また、親水公園の管理費として、いの町から年間5万円をいただけることになっているが、県有地の部分については高知県から管理費を出す予定があるのかお聞きしたい	奥田川親水公園の具体的な内容については、県土木事務所もしくは県河川課にお問い合わせいただければ、植樹の可否や活動に対する支援について検討させていただきます。		
		31	パブコメ	いの町	堤防に桜の植えることは構造上ダメなのでしょうか	いの町において「桜づつみモデル事業」として桜を植樹された事例があります。具体的内容については、国土交通省高知河川国道事務所又は高知県にお問い合わせください。		
		32	パブコメ	いの町	親水公園を整備して欲しい(八天大橋～高速道路橋の左岸側の堤外地(民地を含む)一帯を)	親水公園の整備については、関係自治体の意向を踏まえながら検討していくことが重要であると考えております。		
		33	パブコメ	佐川町	みんなが泳げる日高～伊野橋もう一つほしいです			

仁淀川水系河川整備計画【修正案】に関するご意見・ご質問とその対応 (4/6)

分類No.	テーマ	通しNo.	聴取区分	市町村名	意見内容	四国地方整備局及び高知県の考え方	整備計画【案】記載ページ	考え方に対応した河川整備計画【案】の内容	
環境-3	河道整備における配慮事項	34	学識者	-	奥田川の親水公園では、環境の多様性に配慮した河川工事をしていただいているが、水際が垂直になっている。エコトーンに配慮して、垂直じゃない水際を作っていたきたい。	施工時の課題として、現地を確認し、滞筋の修正等の対応を検討してまいります。また、ご指摘の奥田川の改修工事を含め、担当する県土木事務所への周知を行ない、施工時に十分に配慮が行われるよう対応いたします。			
		35	パブコメ	いの町	魚(アユ・ウナギ等)や水生動物が住みやすい天然護岸(蛇籠工法等に瀬と淵を配置する)にし、日本一の清流と豊かな川にする	水際部の整備にあたっては、魚類、底生動物や抽水植物等の生息・生育・繁殖環境に配慮し、水際のエコトーンの形成を目指すこととしております。			
		36	パブコメ	佐川町	自然工法とは思わないが、川に水が流れ、川魚が生めるように				
		37	パブコメ	佐川町	柳瀬川 ・淵や瀬、石堰のある川にしてほしい ・川に降りる道をつくってほしい	今回の河川整備計画では、「豊かな自然とふれあうことができる川づくり」を基本理念の一つとしておりますので、ご提案いただいた主旨も十分に踏まえ、柳瀬川の今後の事業については、河川の利用や景観および自然環境へ配慮しながら実施してまいります。			
環境-4	清流保全	38	市町村長	仁淀川町	全般的に特にはないが、清流を守っていくというこの計画をしっかりと形にしてほしい	基本理念に基づき、清流仁淀川を後世に残せるよう努めてまいります。			
環境-5	清掃活動	39	パブコメ	いの町	現在、年に数回イベント型の河川清掃が行われていますが、これだけでは川がきれいになるはずがありません。川の環境を守るということは川を汚くする人たちとの戦いです。徹底的にやらねばどんどん悪化していきます。そこで提案です、毎月第2と第4土曜日を『二四土川(によどがわ)クリーンデー』にしたらいかがでしょうか。年間20回(年末年始を除く)の常設型の清掃日を作り「海戦術で”連中”を追いつめるのです」 ①まずチラシ等を作り二四土川クリーンデーの内容を仁淀川流域の住民にしっかり周知させる(初回のみ) ②実施日の前日の昼と夕方、防災無線放送で各地区にお知らせする(悪天候や増水による中止はこの時に伝える) ③当日の午前中、各参加者が好きな時間帯に、好きな場所へ行き、好きな時間だけゴミ拾いをする(規則はできるだけゆる〜い方がよい) ④堤防上あるいは進入路などの決められた集積場に分別(可燃物、プラスチック、金属など)したうえで出しておく ⑤同日の午後に委託された専門業者さんがトラックに積み込み、焼却場や最終処分場へ運ぶ この作業を根気よく続けられればきっと仁淀川は少しずつきれいになっていくと思います。ぜひ予算化して、とにかく1年間だけでも試験的にやってみる事をお勧めします	現在仁淀川では、地域と一体となった河川清掃の実施等を通じ河川美化に努めているところです。 なお、頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。			
管理-1	大規模地震に伴う河道閉塞	40	市町村長	いの町	河道閉塞に関して「訓練も必要である」となっているが、下段では「早急な対策を行うことにより被害軽減を図る」とあるが、中身は何でしょうか？もっと具体的な記載をしたらどうか	河道閉塞がいつどこで発生するかを予測することが難しいことから、河道閉塞が発生しても被害を最小化するために、日頃からの情報伝達や資材の調達を含めた訓練等のソフト対策を進めることが重要であると考えております。 なお、ご指摘の主旨を踏まえ、訓練内容について修正・追記いたしました。	P169	4-2-1 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項 (4) 浸水被害軽減策及び危機管理体制 2) 地震及び洪水・津波への対応 さらに、平常時より地震を想定した被災状況等の情報収集・情報伝達手段を確保するほか、迅速な巡視・点検を行います。並びに併せて円滑な災害復旧作業に向け、大規模地震による津波被害や山腹崩壊による河川への天然ダム発生を想定し対策工法の検討や、資機材の調達方法を含む検討等、二連の復旧内容について訓練を実施するなどし、関係機関との連携による体制の強化を図る。	
		41	住民	佐川町	河道閉塞について、「早急な対策」、「資機材の調達方法」、「被害の軽減を図る」とか書かれているが、具体的にどうしているのか。導水路が必要なのではないか。ハード整備は全くないのか				
		42	住民	佐川町	300年前の崩落については、高知県もわかっているはずである。国交省も舞ヶ鼻で土砂崩れが起きたら何百万m3の土砂が出て、撤去にどれくらい日数がかかるかというのを試算していると聞いたがどうか				

仁淀川水系河川整備計画【修正素案】に関するご意見・ご質問とその対応 (5/6)

分類No.	テーマ	通しNo.	聴取区分	市町村名	意見内容	四国地方整備局及び高知県の考え方	整備計画【案】記載ページ	考え方に対応した河川整備計画【案】の内容
管理- 2	情報伝達	43	学識者	—	洪水予報では、住民への情報伝達が重要視されているように、地震時についても情報提供の体制が非常に重要と思うので、地震時の情報伝達についてももう少し頑張った表現にしたい	ご指摘の主旨を踏まえ、地震時の危機管理対応としての情報伝達について修正・追記いたしました。	P168	4-2-1 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項 (4) 浸水被害軽減策及び危機管理体制 1) 河川情報の収集・提供 なお、仁淀川の国管理区間は「洪水予報河川」に指定されており、気象台と共同で洪水予報を発令するとともにし、関係機関に迅速かつ確実な情報連絡を実施するとともに、また、高知県が管理するダムについても同様に、関係機関への情報連絡を実施する。さらに、また、水防警報の迅速な通知により円滑な水防活動を支援し、浸水被害の軽減を図るとともに、出水(増水)期前に関係機関と連携した洪水対応演習を実施する。 なお、大規模地震時においても、河川における管理施設の被災状況や、津波遡上の状況等を収集し、情報提供するなど、避難活動に資する情報連絡を迅速に実施できる体制を構築する。 さらに、地域住民等に提供する防災情報については、受け手側が防災情報を正確に理解して共通した危険性を認識し、的確な判断や行動に繋がるよう、「高知中部地域災害情報協議会」の場を活用するなど、関係自治体と連携して、必要に応じて改善・拡充を図る。
管理- 3	ダム堆砂	44	市町村長	いの町	「大渡ダムの堆砂量は概ね計画通り」とあり、一方で「定期的なダム堆砂量の状況を調査する」とある。すでに調査していることですね	ダム管理において、堆砂量の状況把握は重要であり、今後とも継続した調査を引き続き実施してまいります。		
		45	市町村長	いの町	ダムの堆砂に関して、「モニタリング」という言葉が度々出てくるが、今後はさらにモニタリングの濃度を高めるといった意味なのか、それとも今までやってきたことを書いているだけなのか	これまで、測量を実施し、河床の変動状況、ダムの堆砂状況等のモニタリングを継続的に行っております。今後とも、モニタリングを継続するとともに、観測精度の向上に努めてまいります。		
		46	市町村長	越知町	桐見ダムの堆砂が計画を上回っているが、ダムの能力が落ちているのではないのか	初期の想定より大きな堆砂があったものの、現在の堆砂の進行についておおむね計画どおりであり、堆砂容量にも余裕が有ることから、特段の支障はないと考えております。		
管理- 4	草木の管理	47	住民	日下川の下流は樹木が繁茂して流れを阻害していると思う何年かに1回でいいので竹木の伐採を行ってほしい	日下川については、流下断面の維持及び局所洗掘等による災害の発生防止の観点から、関係機関と連携を図りながら、河道の整正や樹木伐採等、適切な維持管理が実施できるよう努めてまいります。			
		48	市町村長	佐川町	ヨシの繁茂については自治体は一般廃棄物としての処理に苦慮しており、有効利用等も含めた研究等を進めていただきたい	有効利用の観点からは、国管理区間の堤防の刈草についてはロール化し、地元配布を行っている事例があります。県でも過去には牛の放牧による除草を試した事例があります。河川の維持管理で除去された植物の処分方法については、維持管理の省力化やコスト縮減の観点からも、今後の課題として取り組んでまいります。		
管理- 5	土砂管理	49	学識者	—	河道断面を通過する土砂量のモニタリング技術や解析技術は精度が高まってきているので、こういった技術を活かしながら、流域全体の土砂動態を把握し、河道掘削後の効率的な維持管理を考えてほしい	効率的な河道の維持管理に向け、今後ともモニタリング技術等について学識者のご指導を仰ぎながら、精度の向上に努めてまいります。		
		50	住民	日高村	土砂の除去について、住民から要望しなくても定期的な実態調査を行った上で実施してもらいたい また、日下川と井峰川を、一連事業として実施できないのか	日下川や井峰川については、流下断面の維持及び局所洗掘等による災害の発生防止の観点から、関係機関と連携を図りながら、河道の整正や樹木伐採等、適切な維持管理が実施できるよう努めてまいります。		
管理- 6	残土処理	51	学識者	—	大規模な河道掘削を行うことになっているが、残土の処理はどう考えているのか 残土のポリウムの見積もりをしたうえで、処理可能と考えているのか	掘削土砂については、できる限り有効活用を図ることとし、上流部の築堤盛土や高知海岸の養浜材としての活用を考えております。 なお、河川整備計画【案】174ページに「河道掘削により発生した土砂や再堆積土砂については、高知海岸の養浜材等への利用を検討し、有効に活用する」と記載しております。		
事業評価- 1	環境価値	52	学識者	—	費用便益分析について、瀬淵の喪失、生き物の減少等、環境面でのマイナスの効果は考慮しないのか 自然環境を貨幣換算すると、大きな価値があるとされているので、そういうことも配慮していただきたい	費用便益分析は、「治水経済調査マニュアル(案)」に基づき実施しており、自然環境については、考慮できておりません。 しかしながら、工事を実施する際には、環境にも十分配慮し、対応したいと考えております。		
		53	学識者	—	仁淀川のように貴重な環境資源のある川を、全国一律のマニュアルで評価しているものか、今後検討の余地がある費用便益分析で、数値化できないものについては定性的な評価を併記した方がよい			

仁淀川水系河川整備計画【修正素案】に関するご意見・ご質問とその対応 (6/6)

分類No.	テーマ	通しNo.	聴取区分	市町村名	意見内容	四国地方整備局及び高知県の考え方	整備計画【案】記載ページ	考え方に対応した河川整備計画【案】の内容	
事業評価-2	社会的割引率	54	学識者	-	費用対効果について、社会的割引率4%という値が十何年前から変わっていないが、この値は固定してしまっているのか	現時点では、「治水経済調査マニュアル(案)」に基づいて、社会的割引率を4%としておりますが、今後、社会情勢等の変化により、「治水経済調査マニュアル(案)」の改定があれば、その内容に応じて評価を行ってまいりたいと考えております。			
事業評価-3	資産の減少	55	学識者	-	仁淀川流域の人口は2040年の段階で約3割程度減少すると想定されている。このような中で、被害軽減期待額は人口に比例して今後急激に減少していくと思われるため、長期の整備計画を評価する際は注意が必要である。迅速に整備を実施し、効果が最大限発現されるようにすることが重要である	ご指摘のとおり、迅速に整備を実施し、効果が最大限発現されるようにすることが重要であると考えております。 なお、資産が30%減少した場合でも、B/Cは1.0を上回ることを確認しております。			
その他-1	情報発信・広報	56	学識者	-	対象地区別の目次を作成するとか、流域のエリアマップを作成するなど、河川整備計画の目次だけでなく広く見てもらえるようアピールした方がいい	今後の公表資料についても、ご指摘の主旨を踏まえ分かりやすい資料を作成するよう努めてまいります。			
		57	学識者	-	流域住民の参加者が少ないので、ニュースレター以外の方法も使って広く流域住民に知ってもらい、意見を聴くということを考えていただきたい	第2回の意見聴取会では、ニュースレターの新聞折り込みやホームページ、新聞広告による開催告知のほか、新たに関係自治体に協力を頂き、防災無線等で参加を呼びかけましたが、結果的に住民の参加者が少ない状況でした。 なお、今後とも、更なるホームページの活用等により、積極的な情報発信に努めてまいります。			
		58	住民	佐川町	出席者が少ないので、住民の人がもっと関心をもって出席できるように広報の方法を工夫してほしい				
		59	住民	日高村	資料の配布場所が少ないのではないかと。せめて関係市町村役場では配布するべきではないか	頂いたご意見を踏まえ、閲覧場所でも希望者には資料を配布できるよう手配いたしました。			
		60	住民	いの町	仁淀川の流域にライブカメラを設置していただきたい計画があるのであれば、上流から下流にかけて何箇所か設置してほしい	頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。			
その他-2	歴史・文化	61	学識者	-	八田堰は江戸時代から構築されたものであり、当時の文化のみならず、工学的見地からもその価値は大きい。今後、八田堰の改築計画があるのであれば、八田堰の歴史的価値を十分考慮していただきたい	今回の河川整備計画では、八田堰の改築は予定しておりませんが、次期以降の河川整備計画では、河川管理者として流下能力向上を図るため、改築等が想定されます。 今後、改築等を検討する場合には、八田堰の管理者である吾南用水土地改良区や、農林水産省等の関係機関と調整を図り、検討してまいりたいと考えております。 なお、頂いたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。			
		62	学識者	-	仁淀川流域には多くの祠や、歴史的建造物が残されている。これらの遺構は、数百年にわたって私たちの生活を見守ってきたわけであり、歴史や文化に配慮し、祠や神社等を残していただきたい	工事を実施する際には、極力配慮してまいりたいと考えております。			
その他-3	その他	63	市町村長	いの町	「越知町から佐川町にかけて広大な農地等が被害を受けている」とあるが、「農地」という言葉は農林水産省の仕事のように聞こえる	柳瀬川下流部の被害については、洪水時に道路冠水している状況もあることから、その旨を追記いたしました。これについては、佐川町住民意見(No.11)にもあるところです。 なお、第1回の意見聴取会の際に、佐川町の住民の方から毎年のように農地が浸水していることも認識してほしいというご意見を踏まえ、「農地」という記述を記載させて頂いております。	P35	2-1-2 治水事業の沿革 (7) 支川【高知県管理区間】の対策 7) 柳瀬川 その後、昭和50年台風5号及び昭和51年台風17号による大水害を契機として、昭和50年から54年度に河川災害復旧助成事業として、柳瀬川本川、支川春日川(すががわ)、斗賀野川、西山川(にしやまがわ)等の延長35.8kmが整備されたが、下流部で未改修となっていることから浸水被害が未だに頻発しており、越知町から佐川町にかけての広大な農地等が被害を受けている。 また、県道柳瀬越知線等の道路冠水によって、孤立集落が発生しており住民生活の支障となっている。	
		64	市町村長	佐川町	S50、S51の大災害の後、ゴム堰を設置したが30年を過ぎて寿命を迎えている。自治体だけではとても対応できない。河川管理者として責任はないとしても、何かいい知恵がないか教えてほしい	利水者にとっては重大な課題であることは理解しております。今後、それぞれの自治体の地域課題として取り組むことが重要であると考えております。			
		65	住民	日高村	四国地方整備局及び高知県の考え方、「具体的な地下水利用への影響が生じたことが明らかであれば調査および対策の検討が必要であると考えますが、現況では調査の予定はございません。」とある。地下水の利用ではなく、地下水の流れが変わり、家屋の下に流れていなかった地下水が現在は流れるようになり、雨戸がレールから外れたりしている具体的事実があるなかで具体的な対応を求めている	状況について確認するよういたします。			
		66	住民	佐川町	高知県と四国地方整備局で県内のインフラ整備について意見交換をされたようだが、河川関係で何か地震に関する要望はされているのか	南海地震対策は県政の最重要課題ですので、河川事業に限った話ではありませんが、7月25日の「平成25年度 高知県建設事業調整会議」では、南海地震対策事業が加速できるように要望しております。			